

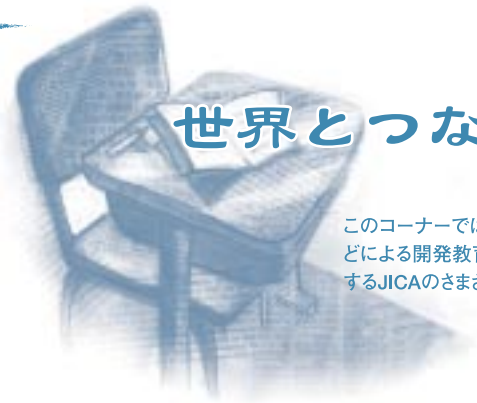


山内さんとともに南アフリカについて学んだ高校生は、文化祭で同国の実情を伝える作品を展示。かつてアパルトヘイトによって黒人が追い込まれたタウンシップを再現した

# 世界とつながる教室

JICAの開発教育支援

このコーナーでは、各地の教育委員会や学校、NGOなどによる開発教育・国際理解教育の実践・普及を支援するJICAのさまざまな取り組みを紹介します。



## 南アフリカで見つけた骨太なテーマ

「この目で初めて、格差の姿を見た気がした。世界の厳しい現実を、ちゃんと子どもたちに伝えなければ」  
秋田県横手市立増田小学校教諭の藤倉欣浩さんは、2005年8月、JICA東北主催の教師海外研修で南アフリカ共和国を訪れ、そう思った。同国では1940年代から、白人と黒人などを分けるアパルトヘイト（人種隔離政策）が公然と進められた。93年に全面廃止されたが、アパルトヘイトの影響による教育水準の差などが尾を引き、いまだ人種間の雇用格差が著しい。互いに不信感を抱きながら暮らす人々の様子を垣間見て、格差の問題の根深さを感じた藤倉さん。現地では連日、格

差をテーマに写真を撮り、帰国後、それらを使って、総合的な学習の時間で授業を行った。

高圧電線で囲まれた重々しい白人の家の写真と、粗末な黒人のバラックの写真。小学5年生85人に、藤倉さんはまず、この2枚の写真を並べて見せ、比較して気付いた点を発表させた。その後、「家の差のほかにどんな差があると思う？」と質問。子どもたちは、「服装、病院、仕事、寿命など、想像できるあらゆる差を予想した。」

藤倉さんの質問は続く。「このような差を生んだ犯人は何？」「この差はどんな問題を起すかと思う？」「差が生み出す問題を知ってどう思う？」。小学生には少し難しい問いに聞こえるが、「段階を追って問い掛けることで、子どもたち

## 東北発・国際理解に役立つ教材作り

# 格差、貧困を考えるきっかけに

JICA東北が2005、06年度に南アフリカ共和国で実施した教師海外研修に参加した教員らが、現地での経験を子どもたちに伝える。そして、そうした授業で使った手法などを分かりやすくまとめた「国際理解に役立つ教材集 南アフリカ共和国編」が完成した。



教師海外研修で南アフリカを訪れた山内さん(左)は、研修前に生徒とメッセージカードを作り、エイズ問題に取り組むNGOスタッフに手渡した

結果は、今夏行われた文化祭で発表された。南アフリカの実情を伝える芸術作品なども多数作られ、校内だけでなく、JICA東北でも展示された。

子どもたちから(社)日本ユネスコ協会連盟主催のキャンプなどに参加し、アジアやアフリカの同世代と交流してきた山内さん。「彼らの国に戦争や災害

が起らないことを願っている。ユネスコ憲章の前文に記されているように、戦争は人の心の中に生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。今、教員をしているのは、その思いの延長線上にある。」

## 国際理解教育を広げる契機に

今年6月、JICA東北は、こうした取り組みをほかの教員や市民にも広めようと、藤倉さんや山内さんらの授業をもとに「国際理解に役立つ教



は考えたこともないような問題に気付いていく。人の心を変えてしまう格差や人権問題などの骨太なテーマは、小学生にも通じる」と藤倉さんは言う。そして学んだことを他人ごとで終わらせないため、最後に「日本人がつくる貧困」というテーマで、日本人の食べ残しの実態や世界の食料生産の問題などについて調べる時間を設けた。

南アフリカや日本について調べたことを発表する藤倉さんの生徒。「図や写真を使って個書書きにまとめさせることで、資料を丸写しするのではなく、自分の言葉で考えるようになる(藤倉さん)」



藤倉さんや山内さんら教師海外研修に参加した教員のほか、元青年海外協力隊員も協力して作られた教材集。南アフリカで撮影された写真資料も添えられている

材集 南アフリカ共和国編」を作成した。南アフリカの人権問題や格差、エイズ、相互理解といったテーマで構成され、授業の進め方や生徒の意見を引き出す工夫などが丁寧に紹介されている。ほかの国や地域、テーマでも応用しやすい内容になっているのが特徴だ。教材は300部発行され、東北地方の中・高校、大学、NGOのほか、問い合わせのあった一般市民や他地域の大学生にも配られた。

藤倉さんは「人種差別や貧困という難しい問題をどう取り上げていいかわからない教員は多いと思うが、この教材を通して、国際理解教育を広げるきっかけになれば」と期待している。

「国際理解に役立つ教材集」に関する問い合わせ

JICA東北 連携促進チーム

TEL : 022-223-4772 Email : thictpp-staff@jica.go.jp

URL : http://www.jica.go.jp/tohoku